

令和2年度
第1回野田市文化財保護審議会

令和3年3月書面審議

1 議 案

(1) 令和3年度事業計画(案)について

2 報 告

(1) 令和2年度事業実施状況について

3 そ の 他

(1) 災害関連文化財の調査について(令和2年度)

議案 (1) 令和3年度事業計画 (案)

種別		実施時期	内容	備考
記念物	申請・届出等 (進達)	通年	コウノトリ	補助事業等の諸手続き
有形文化財 (建造物)	調査・記録作成	通年	近代建築 (校舎・住宅)	国登録のための調査・記録作成
民俗文化財	イベント	11月下旬～12月上旬	民俗芸能のつどい	樺のホール・小ホール
	後継者育成事業	12月	小学生を対象とした後継者育成育成事業	小学校2校 (下根獅子舞保存会)
	調査・記録作成事業	通年	災害関連文化財の調査・指定	石造物・古文書等の調査
埋蔵文化財	協議	随時		
	確認・本調査	随時		国庫・県費補助事業、市単独事業
	本調査	随時		民間開発
	整理作業	9月～3月	岩名作遺跡	市単独事業
		1月～3月	令和2年度調査市内遺跡	国庫・県費補助事業
	刊行物	3月	令和2年度野田市内遺跡発掘調査報告	国庫・県費補助事業
		3月	野田市内遺跡発掘調査報告	市単独事業
教育普及・活用	文化財出前授業	4月～7月	郷土史の授業・昔体験 鈴木貫太郎関係	市内小学校
	刊行物	3月	のだ文化財だより	第30号
	学習受け入れ	随時	キャリア教育実践プロジェクト (職場体験)	市内小・中学校
	講師派遣	随時	郷土史講座ほか	
鈴木貫太郎記念館	令和元年の台風19号の影響により休館中。 被害の少なかったロビーでビデオ放映、小規模展示及び副館長による解説は実施する			
	資料整理	通年	資料目録の作成	
	資料調査	通年	鈴木貫太郎関係資料の調査	貫太郎翁関係者への聞き取り 亜細亜大学太田耕造記念館
	顕彰事業	10月	さわやかちば県民プラザ主催事業「ちばのお宝再発見」への出展	日時：10月20日～10月31日 場所：さわやかちば県民プラザ県民ギャラリー
旧花野井家住宅	常設展示	通年	重要文化財建造物・民具の展示	
その他	施設管理	随時	除草、清掃、樹木剪定	処刑場・関宿城跡・歴史広場・鈴木貫太郎記念館・岩名古墳公園・博物館用地・旧花野井家住宅・埋蔵文化財整理室・上花輪収蔵庫・中根八幡前遺跡・山崎貝塚公園
	助成等	3月	指定文化財維持保存奨励金	12件：野田貝塚ほか
			無形民俗文化財維持保存奨励金	5件：野田のぼっばか獅子舞ほか
			地域史編纂事業補助金	

報告（１） 令和２年度事業実施状況について

令和３年２月２８日現在

種別		実施時期	内容	備考	資料
記念物	申請・届出等（進達）	通年	コウノトリ	補助事業及び現状変更等の諸手続	
			名勝高梨氏庭園	現状変更等の諸手続	
有形文化財 （建造物）	指定・登録等	４月～１１月	近代和風建築・博物館・学校	国登録：キノエネ醤油社屋２棟（８月１７日） 野田市郷土博物館１棟（２月２６日） 国登録意見具申：中央小学校２棟・１基	①
	調査・記録作成	通年	キノエネ醤油・野田市郷土博物館・ 中央小学校３年館・７年館	国登録のための調査・記録作成	
	工事	６月～３月	野田市市民会館茶室改修工事	屋根葺替等 国庫補助事業により実施	②
民俗文化財	イベント	新型コロナウイルス感染症対策のためいずれも中止または延期	第23回野田市民俗芸能のつどい	櫛のホール・小ホールで開催→次年度に延期	
	後継者育成事業		小学生を対象とした後継者育成事業	木間ヶ瀬小学校（下根獅子舞保存会）→中止	
	調査・記録作成・指定		災害関連文化財	石造物・古文書等の調査→実施なし	
埋蔵文化財	協議	随時	協議件数 99 件		③
	確認	随時	確認調査 10 件	国庫・県費補助事業、市単独事業	
	本調査	随時	本調査 2 件	市実施（2 件）	
	整理事業	9～3 月	寺後遺跡	市単独事業	
		1～3 月	令和元年度調査市内遺跡	国庫・県費補助事業	
	刊行物	3 月	令和２年度野田市市内遺跡発掘調査報告	国庫・県費補助事業	
教育普及・活用	文化財出前授業	４月～７月	郷土史の授業・昔体験	市内小学校 7 校	
	刊行物	3 月	のだ文化財だより	第 29 号	
	実習受入れ	随時	キャリア教育実践プロジェクト（職場体験）	依頼なし	
	講師派遣	随時	郷土史講座ほか	南部梅郷公民館・中央公民館・北部公民館	
	工事	3 月	解説板設置	堤台延命地藏尊間引き絵馬	④
鈴木貫太郎記念館	令和元年の台風 19 号の影響により休館中。 被害の少なかったロビーでビデオ放映、小規模展示及び副館長による解説は実施している。				
	常設展示	通年	鈴木貫太郎翁の生涯と功績に関する展示	新型コロナウイルスの感染症対策のため、年度当初より 5 月 7 日まで臨時休館	
	顕彰事業	2 月（中止）	さわやかちば県民プラザ主催事業「ちばのお宝再発見」への出展	日時：2 月 3 日～2 月 14 日 場所：さわやかちば県民プラザ県民ギャラリー	
	物品修繕	4 月～3 月	刀剣修繕	安藤輝三陸軍大尉遺品軍刀銘「濃州藤原兼統」	
	寄贈受入れ	随時	鈴木貫太郎翁に関する資料等の寄贈受入れ	鈴木貫太郎翁揮毫を 1 名から 1 点受入れ	
	資料整理	通年	資料目録の作成及び資料の読解		
	普及活用	通年	鈴木貫太郎記念館敷地案内図を作成	8 月 15 日以降に記念館で配布を開始	⑤
旧花野井家住宅	常設展示	通年	重要文化財建造物・民具の展示	新型コロナウイルスの感染症対策のため、年度当初より 5 月 7 日まで臨時休館	
その他	施設管理	随時	除草、清掃、樹木剪定	処刑場跡・関宿城跡・歴史広場・鈴木貫太郎記念館・岩名古墳公園・博物館用地・旧花野井家住宅・埋蔵文化財整理室・中根八幡前遺跡・山崎貝塚公園	
	助成等	3 月	指定文化財維持保存奨励金	12 件：野田貝塚ほか	
			無形民俗文化財維持保存奨励金	5 件：野田のぼっばか獅子舞ほか	
			地域史編纂事業補助金	本年度要望なし	

登録有形文化財（建造物）の登録について

令和2年3月12日
千葉県教育庁教育振興部文化財課
043-223-4082

国の文化審議会（会長 ^{さとう}佐藤 ^{まこと}信）は、令和2年3月19日（木）に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、文部科学大臣に対し、野田市所在の「キノエネ醤油」2件、鎌ヶ谷市所在の「澁谷家住宅」3件、「丸屋」2件、芝山町所在の「伊東家住宅」1件を登録有形文化財（建造物）※として登録するよう答申する予定です。

今回の答申後に登録されると、千葉県内の登録有形文化財（建造物）の件数は293件となります。

【参 考】

【登録有形文化財（建造物）について】

登録有形文化財建造物は、50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、届出制というゆるやかな規制を通じて保存が図られ、活用が促されています。

（文化庁「建物を生かし、文化を生かす。登録有形文化財建造物のご案内」より）

1 キノエネ^{しょうゆじむしょけんおもや}醤油事務所兼主屋、旧火入場^{きゅうひいればおよ}及び変電室^{へんでんしつ}

- （1）員 数 2件（2棟）
- （2）所 在 地 野田市中野台字久保之内157
- （3）建築年代 明治30年／明治36年増築（事務所兼主屋）
大正10年／昭和28年増築、昭和51年改修
（旧火入場及び変電室）
- （4）登録基準 「（一）国土の歴史的景観に寄与しているもの」（事務所兼主屋）
「（二）造形の規範となっているもの」（旧火入場及び変電室）

【登録文化財の概要】

○名称：キノエネ^{しょうゆじむしょけんおもや}醤油事務所兼主屋、^{きゅうひいればおよ}旧火入場及び^{へんでんしつ}変電室

^{てんぽう}天保元年（1830）創業の醤油醸造元で、現在も醸造を継続。事務所兼主屋は木造二階建て、切妻造り^{きりつまづく}棧瓦葺平入の事務所東側に入母屋造り^{さんがわらぶきひらり}東西棟の主屋が続く。旧火入場及び変電室は鉄筋コンクリート造り三階建、切妻造りセメント瓦葺の火入場と、一階^{いりもやづく}煉瓦造り、二階木造の変電室からなる、野田で最初期の鉄筋コンクリート造り建築物。



キノエネ醤油事務所兼主屋（写真提供：野田市教育委員会） キノエネ醤油旧火入場及び変電室（写真提供：野田市教育委員会）

○名称：^{しぶやけじゅうたくおもや}澁谷家住宅主屋、^{こめぐら}米蔵、^{もん}門

近世に代々名主を務めた澁谷家の住宅。主屋は文政9年（1826）の建築で、^{よせむねづく}寄棟造り茅葺^{かやぶき}（^{きんぞくいたかりぶき}金属板仮葺）。米蔵は嘉永元年（1848）の建築で、^{どぞうづく}土蔵造り二階建の切妻造り^{いっけんやくいもん}棧瓦葺。門は昭和前期の建築で、切妻造り^{いっけんやくいもん}棧瓦葺の一間薬医門である。主屋の規模、米蔵や門も含めた屋敷構えは地域の旧家にふさわしい姿を今に残す。



澁谷家住宅主屋（写真提供：鎌ケ谷市教育委員会）



澁谷家住宅米蔵（写真提供：鎌ケ谷市教育委員会）



澁谷家住宅門（写真提供：鎌ケ谷市教育委員会）

登録有形文化財（建造物）の登録について



令和2年11月11日
千葉県教育庁教育振興部文化財課
043-223-4082

国の文化審議会（会長 ^{さとう まこと} 佐藤 信）は、令和2年11月20日（金）に開催される同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、文部科学大臣に対し、野田市所在の「野田市郷土博物館」1件を登録有形文化財（建造物）※として登録するよう答申する予定です。

今回の答申後に登録されると、千葉県内の登録有形文化財（建造物）の件数は295件となります。

【参 考】

【登録有形文化財（建造物）について】

登録有形文化財建造物は、50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、届出制というゆるやかな規制を通じて保存が図られ、活用が促されています。

（文化庁「建物を生かし、文化を生かす。登録有形文化財建造物のご案内」より）

1 ^{の だ し きょうどはくぶつかん} 野田市郷土博物館

- (1) 員 数 1件（1棟）
- (2) 所 在 地 野田市野田字谷端370-8
- (3) 建築年代 昭和34年
- (4) 登録基準 「（二）造形の規範となっているもの」

【登録文化財の概要】

○名称：野田^{の だ}市郷土^{しきょうどはくぶつかん}博物館

設計は山田^{やまだまもる}守、施工は竹中工務店。醤油醸造業を営んだ茂木^{もぎ}佐平^{さへいじ}治家の敷地の一部が昭和31年に野田市に寄贈され野田市民会館となり、その敷地内に建築された博物館。鉄筋コンクリート造二階建て正面中央に玄関を付す。床上の外壁はリシン仕上げに横目地を入れ、プレキャストコンクリートの^{たてごうし}縦格子をはめた横長の開口部を開けるなど、水平を意識した意匠をとる。内部は自然光を間接的に取込むなど環境設計も秀逸である。



野田市郷土博物館（写真提供：野田市教育委員会）



野田市郷土博物館館内（写真提供：野田市教育委員会）

野田市市民会館（旧茂木佐平治家住宅）茶室保存修理工事について

1. 事業の概要

野田市市民会館は、江戸時代から続くキッコーマン醤油の醸造家である茂木佐平治家の住宅として、大正 13 年頃に築造された大規模な近代和風住宅と日本庭園である。昭和 31 年に野田市に寄贈され、現在は市民のキャリアデザインの拠点として利用され、国際交流イベントの会場としても活用されている。建物と庭園が織りなす優れた景観から観光の主要なスポットとなっており、テレビや映画の撮影場所としての引き合いも多い。また、近隣に国際的に著名な戸隠流忍術継承者初見良昭氏の道場があることから、通年にわたり多くの外国人修行者が訪れており、これらの人々の憩いの場となっている。

事業の対象とする茶室「松寿庵」は、茂木家が所有していた明治期初期築の建物を昭和 59 年に移築したものである。平成 9 年に屋根葺き替えを実施しているが、経年劣化により柿葺の劣化が著しく美観を大きく損ね、雨漏りも生じており緊急に修繕する必要となったため、国庫補助事業によりあらためて修繕を実施し、本来の用途に加え観光資源として活用の充実はかろうとするものである。

2. 施設（全体）の概要

(1) 所在地 野田市野田 370 番 8

(2) 敷地面積 5,057.21 m²

(3) 文化財の登録状況

施設を構成する敷地及び建物が国登録記念物・国登録有形文化財となっている。

①敷地全体：平成 20 年 7 月 28 日（国登録記念物）

②主屋・茶室：平成 9 年 5 月 27 日（国登録有形）

③野田市郷土博物館：令和 2 年 2 月 26 日（国登録有形）

(4) 茶室の構造及び寸法

①構造形式 木造、平屋建、柿葺

②主要寸法 平面積：側柱真内側面積 23.35 m²

屋根面積：平葺面積（柿葺）65.445 m²

3. 工事の概要

(1) 事業期間 令和 2 年 6 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日

(2) 工期 令和 2 年 12 月 1 日～令和 3 年 3 月 25 日

(3) 総事業費 15,862,000 円（国庫補助及野田文化広場寄付金による）

補助対象経費 9,911,000 円（内訳：国 4,955,000 円市：4,956,000 円）

※補助制度名：文化資源活用事業費補助金（観光拠点整備事業）

事業費内訳 工事費 14,487,000 円（当初申請額 14,190,000 円）

設計監理費 1,375,000 円

(4) 受注者 工事：児島工務店

(岡山市北区平和町 4 番 7 号)

設計監理：文化財保存活用計画株式会社

(西東京市芝久保町 4-12-21)

※建造物の文化財価値を保つため、設計監理について文化財保存活用計画株式会社（文化庁による文化財建造物修理主任技術者講習会修了）に委託している。

(5) 修繕の概要 屋根、建具、竹樋、袖垣・柴垣、腰掛待合の修繕を行う。

①屋 根：柿葺屋根の経年劣化が著しく柿材が割れ粉状に破損し雨漏りも生じていたため天然のサワラ材・竹釘・銅板を用いて葺替えた。棟瓦を葺きなおした。

②建 具：経年の劣化のため、杉板の鉄釘が外れ、鴨居、敷居の溝が磨滅していたため、調整した。

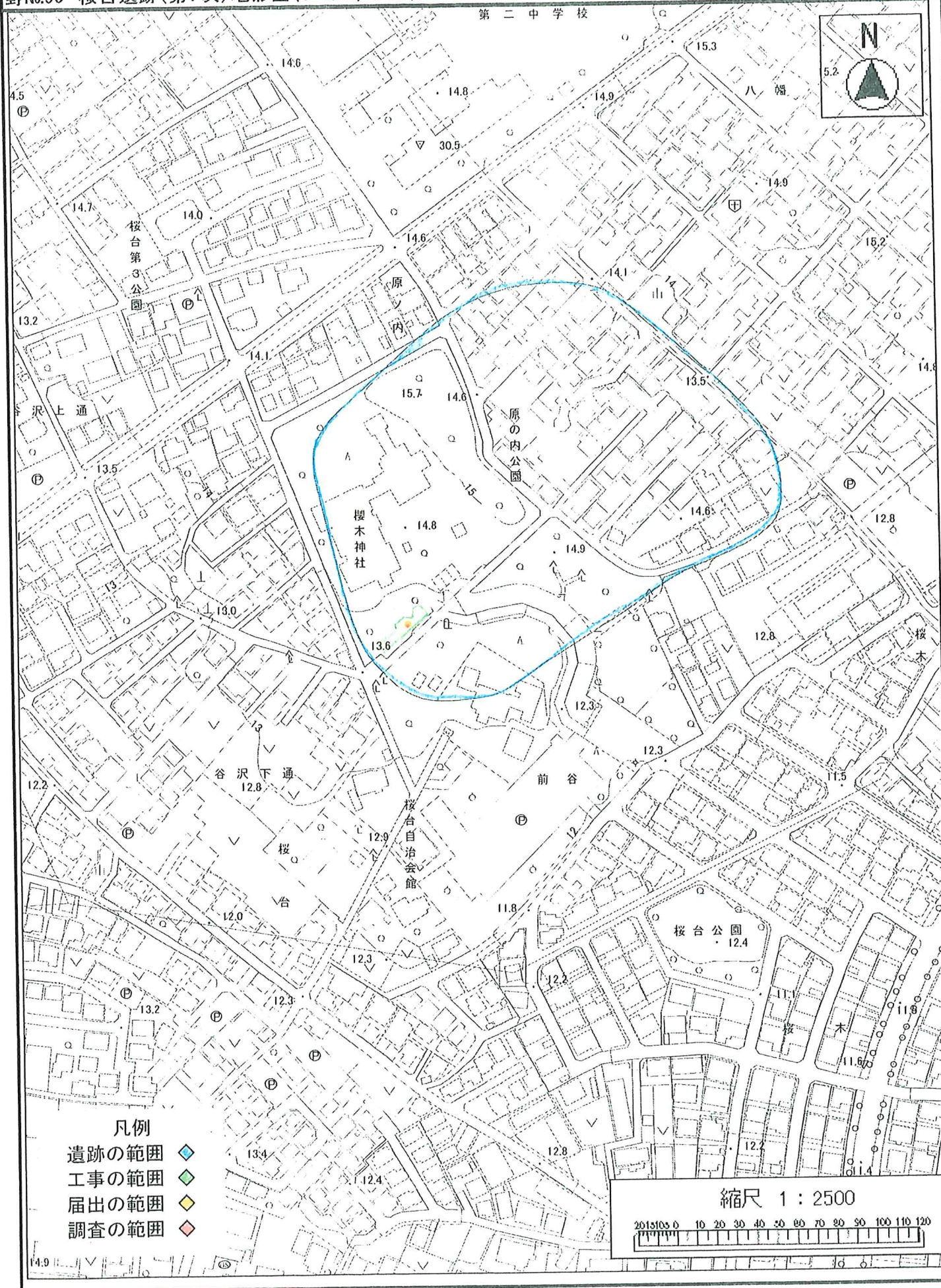
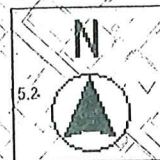
③竹 樋：固定木製受け及び横半丸竹樋が割れ及び腐朽していたため新規作成した。

④袖垣・柴垣：固定柱が腐朽し、竹・柴竹・割竹が割れ及び腐朽が見られたため新規作成した。

⑤腰掛待合：屋根材及び壁材の杉皮が腐朽したため張り替えた。照明器*具が劣化していたため修繕した。

(6) そ の 他 柿葺とその技術保持団体は、令和 2 年 12 月に「伝統建築工匠の技」としてユネスコ（国連教育科学文化機関）の無形文化遺産に登録されている。





自転車置き場

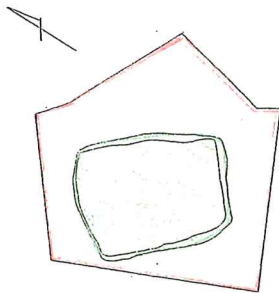
植栽

植栽

植栽

参拝者専用トイレ

参拝者専用トイレ

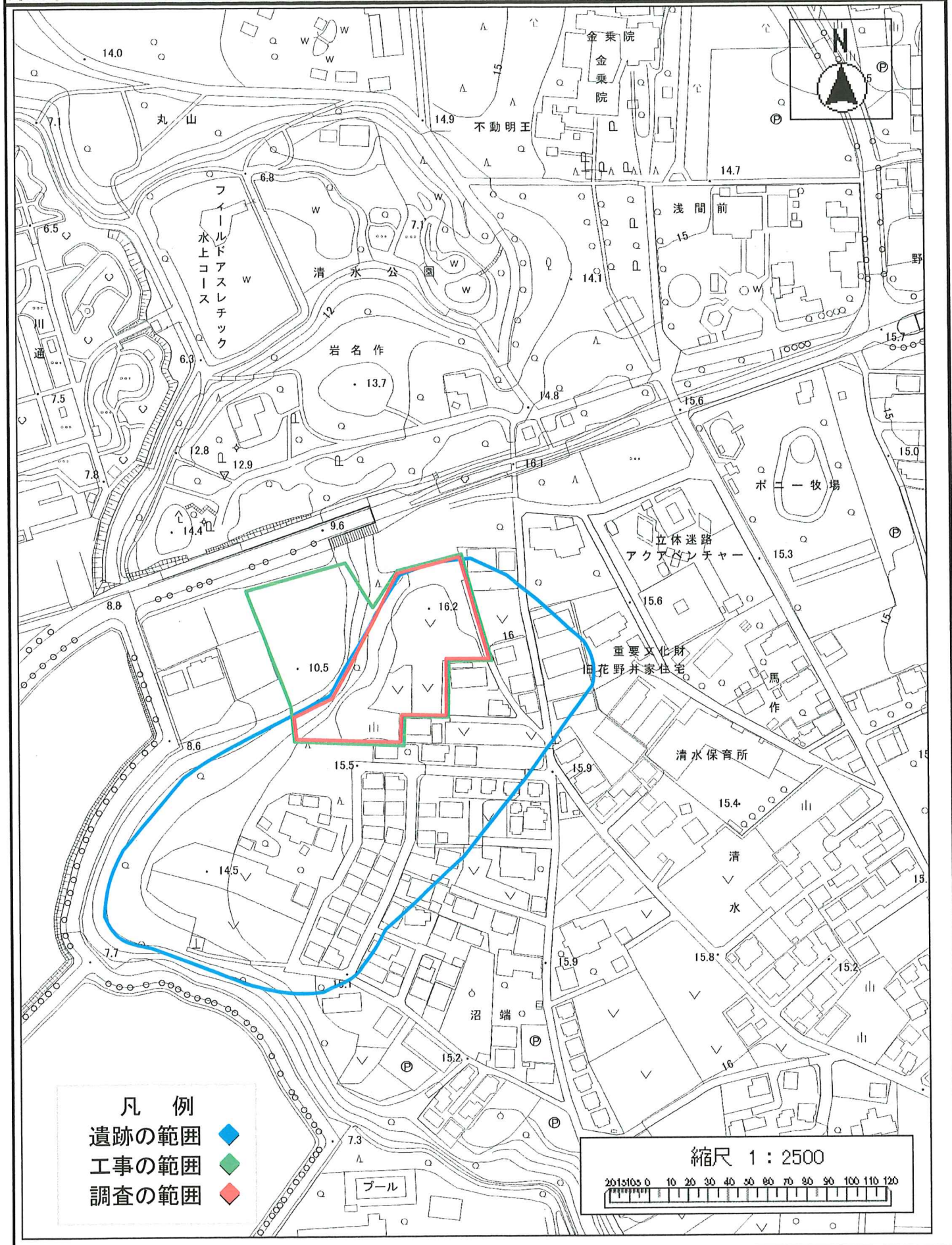


塔

塔



外灯口







堤台延命地藏尊間引き絵馬 解説板設置状況

野田市指定有形民俗文化財 堤台子育延命地藏尊の間引き絵馬

堤台延命地藏尊は、大名田中兵部大輔(吉政)の子孫が、慶安年間(一六四八)一六五二堤台に居を構えた折、祠を建て延命地藏尊を祀ったことが始まりとされる。

以来、近郷により、安産や子育てなど多くの信仰を集めた。本堂脇の絵馬堂には、各地より絵馬や額が多数奉納されている。

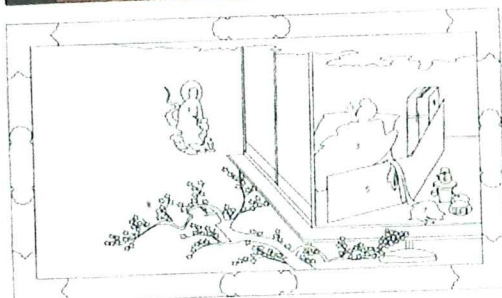
「間引き絵馬」は、かつて災害や飢饉による貧困から、農村などで産まれたばかりの子を殺すという行い(間引き)が広く行われており、このような風習に対する人道的な観点から間引きを戒めるため、当時の識者によって、女性の信仰が盛んな寺院などに、絵馬として奉納されたものとみられる。

作者の小林義文(愛山)は、現在の野田下町に学問を学ぶ「愛山塾」を開いたとされる人物で、上花輪にある長命寺には教え子(弟子)らによる墓碑がある。

本作の画面構成は、右半分に産婦による間引きの様子、左中央に雲に乗った地藏尊が配され、左側に八行の文章と奉納年「文久三」(一八六三)奉納者「愛山」の銘が入る。

画面手前に紅葉が、産屋内には薬束を背に当てた座産体勢の産婦が描かれる。力を込めた両腕の下からは、衝立越しに赤子の手足が覗いている。その傍らには寝そべり子を紙巻る猫や、行灯、薬缶がのった火鉢や炭桶といった当時の出産習俗をうかがう調度品などもみえる。産屋の外には、地藏菩薩が赤子の手を引き天界に導こうとする様子が描かれる。また、愛山の作とみられる文章は、儒教に基づく人道主義が説かれ、間引きを諫めるものである。

本作は、県内に数例という間引き絵馬の希少さに加え、野田の知識人の考えが明確に知れる事例として、さらに当時の産育の様子をうかがう民俗学的な資料としての価値も備えており貴重である。



①地藏菩薩 ②赤子 ③産婦 ④行灯 ⑤衝立 ⑥薬缶 ⑦猫 ⑧紅葉

品質及び形状：板絵着色 横三枚板
寸法：縦七七センチ 横一三六センチ(内寸 縦六三センチ 横一三三センチ)
平成二十二年二月二十八日指定 野田市教育委員会

解説看板内容

堤台子育延命地蔵尊の間引き絵馬

堤台延命地蔵尊は、大名田中兵部大輔(吉政)の子孫が、慶安年間(一六四八)～一六五二堤台に居を構えた折、祠を建て延命地蔵尊を祀ったことが始まりとされる。

以来、近郷により、安産や子育てなど多くの信仰を集めた。本堂脇の絵馬堂には、各地より絵馬や額が多数奉納されている。

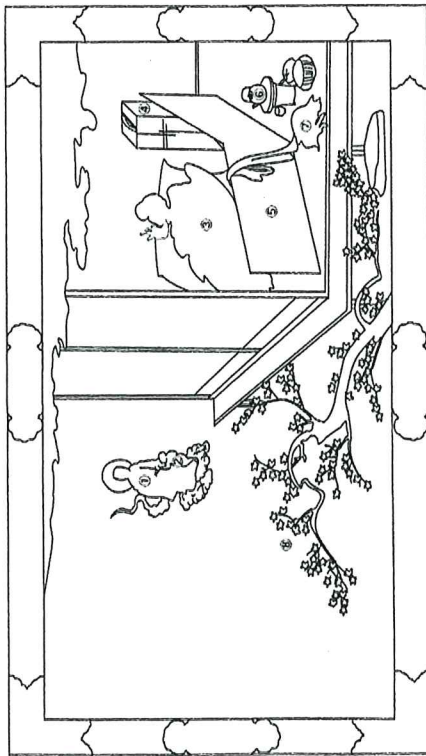
「間引き絵馬」は、かつて災害や飢饉による貧困から、農村などで産まれたばかりの子を殺すという行為(間引き)が広く行われており、このような風習に対する人道的な観点から間引きを戒めるため、当時の識者によって、女性の信仰が盛んな寺院などに、絵馬として奉納されたものとみられる。

作者の小林義文(愛山)は、現在の野田下町に学問を享ぶ「愛山塾」を開いたとされる人物で、上花輪にある長命寺には教え子(筆子)らによる墓碑がある。

本作の画面構成は、右半分に産婦による間引きの様子、左中央に雲に乗った地蔵尊が配され、左脇に八行の文章と奉納年「文久三(一八六三)奉納者「愛山」の銘が入る。

画面手前に紅葉が、産屋内には葉束を背に当てる産産体勢の産婦が描かれる。力を込めた両腕の下からは、衝立越しに赤子の手足が覗いている。その傍らには寝そべり子を舐める猫や、行灯、薬缶がのった火鉢や炭桶といった当時の出産習俗をうかがう調度品などもみえる。産屋の外には、地蔵菩薩が赤子の手を引き天界に導こうとする様子が描かれる。また、愛山の作とみられる文章は、儒教に基づく人道主義が説かれ、間引きを諫めるものである。

本作は、県内に数例という間引き絵馬の希少さに加え、野田の知識人の考えが明確に知れる事例として、さらに当時の産育の様子をうかがう民俗学的な資料としての価値も備えており貴重である。



①地蔵菩薩 ②赤子 ③産婦 ④行灯 ⑤衝立 ⑥薬缶 ⑦猫 ⑧紅葉

品質及び形状：板絵着色 横三枚板

寸法：縦七七センチ 横一三六センチ(内寸 縦六三センチ 横二二センチ)

平成二二年二月二八日指定 野田市教育委員会

鈴木貫太郎記念館周辺関係史跡



①「為萬世開太平」塔

② 戦没者慰霊碑

③ 鈴木貫太郎邸井戸

④ 鈴木貫太郎邸跡地

⑤ 鈴木貫太郎邸門扉

⑥「鈴木貫太郎翁終焉之地」石碑

⑦ 集乳所新設記念碑

貫太郎翁関係史跡解説

鈴木貫太郎翁に関する史跡ですが、①～⑦の他にも記念館に隣接する青空広場の石碑やお散歩コースの光岳寺、墓所のある實相寺などがありますので、お時間あればぜひ訪ねてみてください。

②戦没者慰霊塔

鈴木貫太郎翁の没後 20 年にタカ夫人が明治維新以後全ての戦没者を慰霊するために建立したもの。小石に写経した一字一石を地中に埋めて供養としている。



④鈴木貫太郎邸跡地

戦後に鈴木貫太郎翁が亡くなるまでを過ごした自宅。貫太郎翁が亡き後もタカ夫人が住み続けた。建物は老朽化により取り壊されており、現在では門扉と井戸のみが残されており、当時を偲ぶことができる。

⑥「鈴木貫太郎翁終焉之地」石碑

鈴木貫太郎翁を偲び、農事研究会が建てた石碑。題字は盟友の吉田茂が書いている。吉田は鈴木貫太郎記念館の開設を提言し、設立にも尽力している。



①「為萬世開太平」碑塔

意味は後の世の平和を開くで、終戦の詔書にも出てくる文章。塔の字は鈴木貫太郎翁の自筆から作られたもので、平和を願う貫太郎翁の思いが込められている。



③鈴木貫太郎邸井戸

鈴木貫太郎翁が終の棲家として過ごした自宅にあった井戸。当時は自宅の裏手にあったとされている。



⑤鈴木貫太郎邸門扉

鈴木貫太郎翁が終の棲家として過ごした自宅の門扉。少し入ったところで貫太郎翁が掃除している姿の写真が残されている。



⑦集乳所新設記念の碑

鈴木貫太郎翁は農事研究会を結成するなど、私財を投じて関宿の酪農普及に尽力した。貫太郎翁の亡き後はタカ夫人が自宅の土地を集乳所として提供した。



跡地は記念館の駐車場